

中期

27. 11. 28

平成28年度

教科・領域教育専攻言語系コース（英語）

試験問題表紙

解答上の注意

1. 表紙1枚，問題用紙3枚，解答用紙3枚あるかどうかを確認のこと。
2. 英語科教育分野，英語学分野，英米文学分野のうちから1分野を選択し解答すること。
3. 選択した分野を解答用紙にある選択受験分野表の分野欄に○印を入れて示すこと。
4. 選択しない分野の解答用紙には，用紙全面に「×」を大きく表示すること。
5. 全ての解答用紙の受験番号欄に受験番号を必ず記入すること。
6. 解答は，解答用紙の解答欄に記入すること。
7. 試験終了後は解答用紙のみを回収するので，解答用紙以外は持ち帰ること。
8. 外国人受験者は，問題の指示にかかわらず，すべての問題に英語で解答することができる。

教科・領域教育専攻言語系コース（英語）試験問題

問題用紙全3枚（その1）

著作権の関係により掲載いたしません

- 問1 下線部(1)の'instructed learning'に対する, Krashen の立場を説明せよ。
- 問2 下線部(2)の研究で明らかになったことを具体的に述べよ。
- 問3 下線部(3)について具体的に説明せよ。

問題2 次の日本語を英訳せよ。

著作権の関係により掲載いたしません

教科・領域教育専攻言語系コース（英語）試験問題

問題用紙全3枚（その2）

[英語学分野]

問題1 次の英文を読み、下記の設問に日本語で答えよ。

著作権の関係により掲載いたしません

問1 **Principle of Compositionality** とは何か、本文の例に即して述べよ。

問2 **structural ambiguity** とは何か、本文の例に即して述べよ。

問3 **idioms** の意味は、どうして特殊なのか、本文の例に即して述べよ。

問題2 次の日本語を英訳せよ。

言語学において、「前提」(presupposition) の定義の1つとして次のようなものがある。文1(S_1)が真の時も偽の時も必ず文2(S_2)が真の場合、文2は文1の前提であるという。この定義によると、*The king of France is bald.* は *There is a king of France.* を前提としており、我々の「前提」の直感的理解に適合している。しかし、この定義の問題点は、文1が平叙文の時にしか適用できないことである。例えば、*Is the king of France bald?* という疑問文も、直感的には、*There is a king of France.* を前提としているが、疑問文には真も偽もないので、この定義が当てはまらない。

教科・領域教育専攻言語系コース(英語)試験問題

問題用紙全3枚(その3)

[英米文学分野]

問題1 次の英文を読み, 下記の設問に日本語で答えよ。

著作権の関係により掲載いたしません

- 問1 第一段落を読み, シェイクスピアの時代(16世紀)のイングランドにおいて, ローマ詩人 Ovid (オウィディウス) がどのように扱われていたかを説明せよ。
- 問2 第二・第三段落を読み, ローマの古典作家の中でもとりわけ Ovid が英国ルネッサンス期に人気があった理由を 2点説明せよ。
- 問3 Ovid がローマを追放された理由として信じられていたことを挙げよ。

問題2 次の日本語を英訳せよ。

1895年に『退化』(*Die Entartung*)の英訳が出版され, 世紀末芸術が社会に及ぼす悪影響についてのノルダウ(Max Nordau)の議論が衝撃的に紹介されたが, 同年にオスカー・ワイルド(Oscar Wilde)が同性愛の罪で逮捕されたというニュースが流れた。同性愛は犯罪だけでなく, 退化(degeneration)の典型的な性的倒錯のあらわれとみなされていた。それは種の消滅に向かう現象を指したものだからである。こうして世紀末芸術の流行とともにディジェネレート(退化)の指示対象は拡大し, 退化の現象が社会全体に広まっているという不安と危機意識がいつそう高まっていったのである。

(出典: 加藤洋介『D・H・ロレンスと退化論』北星堂, 2007. 一部改変)